



## いざ総務部長交渉 提案の「白紙撤回」は全労働者の総意だ!!



本日、市職労は第1回目の総務部長交渉を行います。

交渉では、これまで確認してきた闘争方針、みなさんから寄せられた声、そして、県内自治体や民間労働者からの連帯の声、全ての想いを市当局にぶつけます。

そして、市当局の不合理提案の完全白紙撤回を求めます。

今回の提案はもう既に、福井市だけの問題ではなくなっています!

県内自治体職員はもちろん、全国の自治体職員、県内の民間企業従業員の皆さんが自分の事のように危機感を持ってきています。全労働者の総意としての白紙撤回を勝ち取るまで最後まであきらめずがんばりましょう。

### この間の動き

5月19日 自治労福井県本部闘争委員会

▼県本部としての闘争方針と市職労に連帯する取り組みを確認

5月21日 自治労福井県本部総決起集会

▼県内自治体や民間労働者のなかま約200名が結集

▼福井市の不当要求に対して、白紙撤回を求めて労働者全体で取り組む決意を確認

▼「この問題は福井市だけの問題ではない。全国の自治体や労働者全体に広がる可能性がある。」として、市職の取り組みへの協力が表明された

5月22日 福井市職労闘争委員会

▼全執行部で闘争方針に基づく要求書を確認

▼総務部長交渉への決意を共有



## みなさん多くの声をありがとうございました!

みなさんからの声、「内心では困ると思ながらも、決定したときは黙って従うという公務員としての強い責任感」を感じるものが増えてきています。市職労は、そんな志を持った職員一人一人こそが、市民にとっての最大の財産であると確信しています。そして、その職員力を結集して財政再建に取り組む体制を構築することこそが福井市の未来のための最良の策であると当局に訴えていきます。みなさんが福井市民のために今後も精いっぱいがんばられるよう全国の仲間とともにたたかってまいります。組合に多くの声を届けていただきありがとうございました。

声の募集は一区切りといたしますが、今後もみなさんの多様な声を組合に寄せてください。

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
これまでの除雪で、ブロッコリーの判断では、除雪に入らなくてもいいとしていたのに、本部から理由も聞かされずに除雪されたことがあった。除雪することで給料がカットされるなら、上層部も除雪の基準を守るべきだし、除雪の基準も見直すべし!!

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
給料10%カットの数値の妥当性をきちんと示してほしい。見直すべき4つの事業は、ちゃんとあるはず。財政計画の甘さを、職員給与費で補うなんて、今年度、災害が起きたときの財源も、また、給与で補うことになりかねないのだから、断固反対です!

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
一組合員として緊急委員会に参加しました。組合の断固とした決意を聞くことができて、組合員として緊急委員会に参加した。福井市の取組。でも今年自治体は、陛下がく見ます。二は後世に残る福井市の取組。でも今年自治体は、陛下がく見ます。三は後世に残る福井市の取組。でも今年自治体は、陛下がく見ます。四は後世に残る福井市の取組。でも今年自治体は、陛下がく見ます。

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
私達は、誇りをもて仕事をしている!  
今回のような安易な削減は居るべき財源確保はやめろ!!

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
10%の根拠が不足額からの逆算なり、仕事をさせればさせるほど、大型事業を削減するほど職員の給料が下がる。これぞ職員の権利は守られていると言えませんか?

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
福井市の財政状況から、その危険性から認識が甘くない。自分自身も一考が必要。これは、給料も第2の財政調整基金の削減と見做すのは、現職員のモチベーションを下げ、優秀な人材の確保が難しくなる。財政再建の観点から、このように措置を行うことは考え直してほしい。

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
除雪の心ほろひくれと言。下管にはいって、市のため市民のためと、市民の苦痛と罵声を聞いて、必要な処理に必死で頑張ります。片道1時間半歩いて通勤1日。家族の決断の日(子供4人放置)にも耐えた心ほろひくれ。給与10%減ですか、かなしいです。

【記入用紙】

あなたの声を届けてください!  
手は小さい子供の世話や家事は妻任せ、自分の家の雪がきき後回しして市に働いたため、家族に申し訳ないです...

あなたの声を届けてください!  
今年結婚式をします!! 500万円とんでいきます!!  
これから子どももたくさん産む予定です!!  
愛があってもお金がなければ生きていけません!!  
お金がないとどの余裕もなくなります!!! 断固反対!

あなたの声を届けてください!  
一番尽力に努めた職員の10%の給与カットは市職員としての誇りのカットと同じです。職員の頑張りを知らないのだろうか...

みなさんの“声”から多くの気づきを得る事ができました。ありがとうございました!

## 福井市職労への激励の声（抜粋）



### 橋岡克典自治労福井県本部執行委員長

この不当な提案の撤回に向けて、あらゆる方面に支援を呼びかけてきた。今回の提案は不眠不休で災害対応にあたった職員に対する暴挙。十分な議論がないまま、6月議会に上程したいとするスケジュール感もありえない。県本部として中央本部の第155回中央委員会にて報告し、全国の仲間へ支援の輪をひろげていく。自治体組織の弱体化や公共サービスの質の低下につながり、市民や民間労働者にまで悪影響を及ぼしかねない。最後の最後の最後まで諦めず取り組むことを誓う。

### 横山龍寛連合福井会長

福井市の一方的な賃金カット提案を、働く者の仲間として許すことはできない。これは福井市だけの問題ではない。福井市当局のやり方は、労働組合に認められた労使合意の手順から外れており、乱暴すぎる。そのことを民間の組合の方も含め強く訴えたい。厳しいときは労使がそれぞれ我慢する、頑張る。そして乗り越えたら復元する。そういう納得をするまで交渉するから厳しい条件を飲んで頑張れる。福井市もそういった思いができるまで、しっかりと労使が話し合ってほしい。そして納得したら、また市民サービスのために頑張ってください。連合福井も連帯して取り組む。



### 三田村輝士越前市議（自治労福井県本部特別執行委員）

政治とは弱い人のためにある。光のあたらないところに光をあてる。そういう想いで活動してきた。復旧財源が不足するからという職員の給料削減、絶対に許してはいけない。災害対応にあたった職員に手当を出しても、給与を削減するなんてことはありえない。このくらいの雪で財源不足を起こす自治体に誰がしたのか。責任を職員に押し付けてはいけない。本来、厳しい財政状況を共有して、力を貸してほしいと話をすべきではないか。そうすればみんな一生懸命にやる。事業見直しのいいきっかけにして財源を捻出すればいい。そんなチャンスをつぶしてまで職員に負担させる必要はない。撤回させるまでがんばろう。

### UAゼンセン 林憲治福井県支部長

今回の大雪で、民間の事業体でも福井市と似たように財政が苦しいという話を聞いている。余剰資金を持たない中小企業にとっては死活問題である。公務であろうと労使合意のない給与削減が実行されれば、その影響は官だけにとどまらない。損失が出たから労務費を削って穴埋めをしようという考え方は、誰もが思いついてしまうが決してやってはいけないことだ。福井市で提案された手法がまかりとおるのであれば、労働者の人権というものが根底から覆される。会社が苦しいからと労務費を削る企業が出てくる。絶対にこの提案を撤回させよう。



## 交渉にあたっての市職労の考え方

### ○今回の削減提案は決定なのか？

あくまで給料カットは労働者に認められた権利や労使の意思決定プロセスに基づき決定されるものです。これを無視するようなことがあれば、すべての労働者の権利を根底から覆すことになるとして問題となっています。

許容すれば必ず他の自治体や企業へ悪影響を与えることになるので、このような提案を強行させないよう全国の働く仲間と協力して取り組みます。

### ○給与カットへの対応方針

市職労はあくまでも、雪害を起因とする負担転嫁に妥当性がないことを訴え、この不当提案の白紙撤回を求めます。

### ○財政状況について

報道では、これまでの財政運営にも疑問の声が寄せられています。財政運営上の問題が原因であれば、市民だけに負担を押し付けることはあってはなりません。財政再建に向けた方針決定のための職員負担については市職労も考える必要があります。

しかし一方で、財政を理由とした場合には、責任の明確化、負担と責任の均衡が図られるべきです。長期的な財政問題を無理矢理短期で解決しようとし、新採用職員にまで一律の負担を求めている今回の提案には合意できません。

財政の再建方針については、あくまで労使が十分に協議をし、お互いの意見を共有した上で、それらを踏まえて中長期的な改善案を作成するよう求めます。

### ○削減提案を撤回させた場合の財源確保

市当局には、国、県へさらなる財政措置が行えないかの確認を迫りますが、組合の調べたところでは、現行法制は「地方自治体が資金ショートを起こすような財政運営を行うことは想定されていない。」と考えられるということです。だとすれば、新たな財源を模索すると同時に、市当局だけでなく、職員一人一人もそれぞれの職務の中で財源をねん出する取り組みを同時に進めることで財源確保に全力を期す必要があると考えています。

### ○その他、みなさんの声を基に組合が訴えていくこと

- ・ 財政再建に向けた事業の聖域なき見直しの実施と長期的財政健全化ビジョンの提示
- ・ 職員のモチベーション回復、納得性の醸成のため、丁寧な説明と状況の共有
- ・ 同様のことが起きないように、除雪体制と経費のあり方の検証

### ○今後の交渉でのポイントは

提案の一方的な説明、お願いに終始するなど、労使合意を迫るつもりがないと判断できる場合は、不誠実交渉に当たるとして断固としてたたかいます。

また、市当局はこれまで「雪害に想定外の費用がかかったこと」を理由としていましたが、報道の状況などを見ると、これまでの市財政の運営やわたしたちの給与水準そのものを交渉材料としてくる可能性があります。しかし、わたしたちの給与水準は、これまでの労使交渉で合意した上でのものです。市当局が求める「適正な給与水準」については、今回の削減提案とは切り離して交渉する必要があります。

そのうえで、繰り返しになりますが、今回の提案の白紙撤回と、職員との対話に基づく事業見直しを求めます。